

製品名: VEGFA マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81638**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB, ICC, ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:20000
分子量	27kDa

抗原情報

遺伝子名	VEGFA
別名	VPF; VEGF; MVCD1
遺伝子 ID	7422.0
SwissProt ID	P15692
免疫原	大腸菌で発現したヒト VEGFA (AA: 207-371) の精製された組み換え断片。

背景

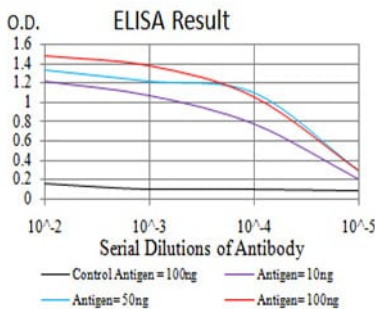
この遺伝子は PDGF/VEGF 増殖因子ファミリーのメンバーです。ジスルフィド結合ホモ二量体として存在するヘパリン結合タンパク質をコードしています。この増殖因子は血管内皮細胞の増殖と遊走を誘導し、生理的および病的な血管新生に不可欠です。マウスで

この遺伝子を破壊すると、胎児期の血管形成に異常が見られました。この遺伝子は多くの既知の腫瘍でアップレギュレーションされており、その発現は腫瘍の病期および進行と相関しています。このタンパク質の高レベルは、クロー・フカセ症候群としても知られる POEMS 症候群の患者で認められます。この遺伝子の対立遺伝子変異体は、糖尿病 1 型 (MVCD1) の微小血管合併症およびアテローム性動脈硬化症と関連付けられています。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。また、上流の非 AUG (CUG) コドンからの選択的翻訳開始によって、さらなるアイソフォームが生じるという証拠もあります。最近の研究では、C 末端が延長されたアイソフォームが、代替のインフレーム翻訳終止コドンを用いた終止コドンリードスルー機構によって生成され、このアイソフォームは抗血管新生作用を示すことが示されました。AUG 開始コドン由来のアイソフォームの中には、内部リボソーム進入部位に位置する上流の小さなオープンリーディングフレームによって発現が制御されているものがあります。

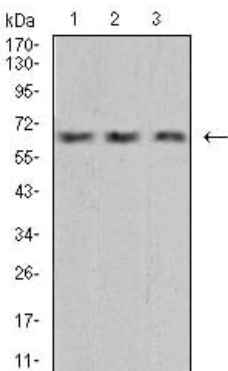
研究分野

PI3K-Akt シグナル伝達経路

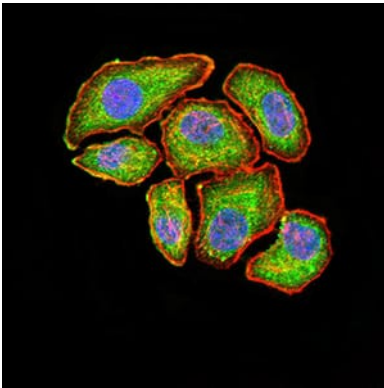
画像データ



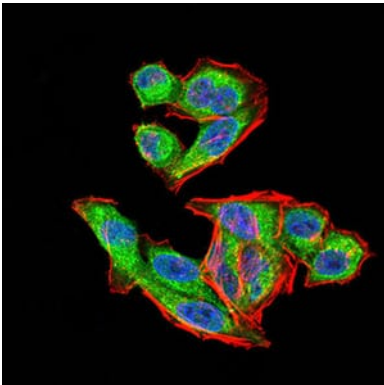
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



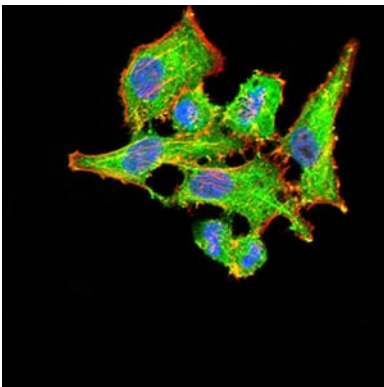
VEGFA マウス mAb を用いた Hela (1)、HUVEC (2)、HEK293 (3) 細胞溶解物に対するウエスタンブロット解析。



VEGFA マウス mAb (緑) を用いた GC-7901 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



VEGFA マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



VEGFA マウス mAb (緑) を用いた HepG2 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。